



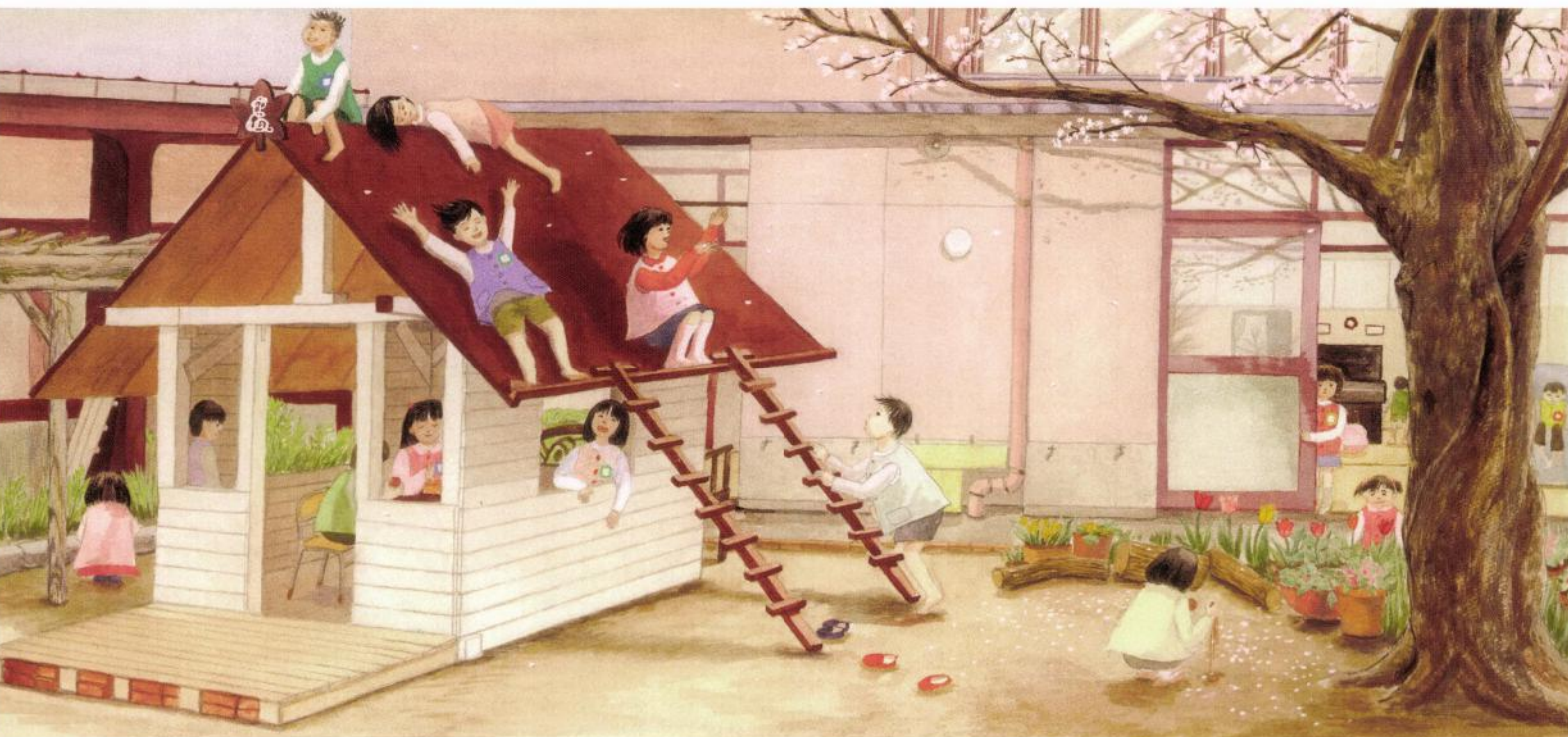
FÛ

EN

楓園

CONTENTS

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 — 大学 NEWS | 8 — 行事報告 12月～2月 |
| 3 — 中高部 NEWS | 9 — この人に聞く 渡辺桂子 |
| 4 — 小学部 NEWS | 10 — 聖書の言葉・英和探訪 |
| 5 — 東洋英和幼稚園 NEWS | 11 — 学院人事 |
| 6 — かえで幼稚園 NEWS | 13 — 2010年度 行事予定 |
| 7 — 学院 NEWS | 15 — 英和の植物通信・お知らせ |



絵：かえで幼稚園おはなしの会有志

■ 春の日のかえでの庭

花々が咲きならぶ中、一人ひとりの新しい生活が神さまに守られて動き出しています。

大学付属 かえで幼稚園



しなやかな伝統を

村上 陽一郎

こういうときは、「はからずも」という言葉を使うのが常套のようですが、私の場合は、虚飾なしに、本当にはからずも、鮑戸前学長の後をお引き受けすることになりました。これまでの本学との関りは、学院の評議員を務めさせていただいてるということ以外にはありませんでしたし、その意味で、毎日が勉強になるに違いない、緊張もしておりますし、不安もございます。大学の構成メンバーすべての方々、そして学院のすべての皆様の暖かいご協力を切にお願いする所以でもあります。

大学という場所は、ある意味では、一般社会から切り離された一種のアジール（隠れ場所）であります。近代的な大学が一九世紀初めにドイツに生まれたとき、一般社会とは無縁の、「教える自由」と「学ぶ自由」の双方が完全に保証された、選ばれた人々のための空間という理念が基礎になっていました。そのような理念が、現代の大学からすっかり拭い去られたわけではありません。

しかし、現代の大学は、例えば日本では、高校卒業生の人口とすべての大学の収容人数とがほぼ拮抗する事態を迎えており、限られた数の知的エリート養成という機能をはるかに超えた働きが求められております。否応無く、社会との繋がりを抜きにして大学は成り立たなくな

っています。大学は、一部の学問をする人々の集まる特殊な空間ではなく、社会の必要を満たす必須の機関として働くことを求められています。

とりわけ、国際化のなかで、大学が作り出す「学士」の普遍的な質の保証を前提とした上で、しかし各大学が、それぞれ社会のなかでどのような機能を果たすか、言い換えれば、どのような卒業生を社会に送り出そうとしているのか、それを自覚的に特化することが、強く要請されるようになりました。

この大学は、言うまでも無くキリスト教精神を教育の基礎に置いています。それは揺るがない前提であり、国際的な視野に立てば、そのことは決してマイナスではありません。ユダヤ教やイスラム教はもちろん、様々な宗教が、国際社会のなかで、正負両面に亘って大きな役割を果たしている今日、とかく「無宗教」を標榜する日本文化圏のなかで、宗教を基盤として、こと自体は、大切な特徴です。無論、そこでの「宗教」は、決して

排他的、独善的な性格のものではなく、寛容で、柔軟な姿勢を持つものでなければなりません。しかし、短期大学時代も含めて、これまで卒業生が社会のなかで好ましい評価を受け続けてきた背景には、大学の基盤としてのキリスト教精神が息づいていることは間違いがない

と存じます。この伝統は私たちの宝物として受け継いでいかなければなりません。

しかし、伝統は固定化されるものではありません。よく「ダイナミック・レガシー」という言葉が使われますが、先輩たちから受け継ぐのは、その根本精神であって、社会との接点の部分は、時代の変化に応じた柔軟さ、あるいはしたたかさ（これも最近流行のカタカナ語を使えば「ローバストネス」ということになりましたか）を持たなければならない。その兼ね合いを見極めることが難しいのだと思います。

幸い鮑戸前学長がご苦勞の末にしっかりと敷かれた基礎は、そうした柔軟かつ確かなものであると承っております。その上に、与えられた時間は比較的短いものではあります。ローバストな大学として、社会のなかにしっかりと存在を示せるよう、最大限の努力を注ぎたいと考えております。

プロフィール●村上 陽一郎
(むらかみ よういちろう)

1936年東京生まれ。東京大学教養学部、大学院で科学史・科学哲学を学ぶ。上智大学理工学部助手、助教授、東大教養学部助教授、教授、同先端科学技術研究センター教授、センター長、国際基督教大学教授、東京理科大学教授を経て、2010年4月現職に就任。著書に、専攻の和洋の学術書のほか『科学者とは何か』、『安全学』、『あらためて教養とは』など。

東洋英和女学院大学を
去るに当たって

飽戸 弘

一九九五年、東京大学を定年退官して直ちに本学に呼んでいただき、あつという間に一五年が経過しました。初めて東洋英和女学院大学に来た時、職員の方々も、学生諸君も、とても温かい雰囲気を感じ、こういう大学に来ることができて良かったと思つたものでした。

二〇〇五年、本学を定年で退職する予定でしたが、学長に選出され、さらに五年間お世話になることになりました。学長に就任した時、一〇年前のあののどかで、やさしい雰囲気を取り戻せるよう努力したい、と申し上げたのですが、大学の環境はますます悪化、二〇〇七年改革に引き続き、二〇一〇年改革と、かえって忙しく、厳しい状況になってしまいました。教職員の皆さんには、お約束を果たすことができず、申し訳なく思っています。

東京大学時代そして本学教授時代と、公務からはできるだけ逃げて「研究一筋」を志向する自己中心の人生でしたが、学長職を与えられ、教職員の皆さんが大学のため、学院のため、尽力しておられることを実感しました。研究者生活最後の五年をミッシヨンスクールの学長として、大学行政に、そして福音伝道に、尽力することができたことを主に感謝します。何よりも教職員の皆さんのご支援、ご協力を、心から感謝しています。

飽戸 弘学長 退任記念講演会

二〇一〇年二月二日

一九三五年、横浜の桜木町に生まれたが父母を幼少期に亡くし、疎開先の岐阜において高校時代までを過ごす。東大卒業後、結婚のため大学院進学を断念し、輿論科学協会・心理実験調査部に就職した。そこで「深層心理マーケティング」を完成し、研究者としてスタートすることになる。その後、東京大学新聞研究所、埼玉大学教養学部において、世論調査やマーケティング、広告戦略などの研究に従事し、池内一、林知己夫という二人の恩師の薫陶を受け、研究者としての地位を確立する。東大助教教授時代のオハイオ州立大学政治学部への留学（客員研究者として）は、アメリカ人日本研究者との交流を深め、以後の大規模な国際共同研究の礎となる。一九八八年、コロンビア

大学東アジア研究所客員研究者として、アメリカ大統領選挙の研究に従事。妻と二人三脚で七カ月間、全米十三州を駆けめぐり五〇名に及ぶインタビュー取材を行い、『メディア政治時代の選挙』（一九八九年）を上梓する。一九九五年に東大を退官し、東洋英和女学院大学に移

り、学部・大学院の教育に従事するとともに、広告論、テレビ政治報道と政治意識の研究などを進める。半世紀の研究生活を振り返り、池内一、林知己夫という二人の「師」、国内外の良き友、良き教え子など「人との出会いやつながり」に感謝する。

一九八五年頃より、家族を顧みない研究一筋の生活を反省するようになった。一九九〇年、ハワイでの共同研究に招聘され、妻と病気の次女を同伴した際、娘の病の回復を神に祈り、奇跡を見、神の存在を確信する。そして、一九九一年、イースターの日に受洗しキリスト者になる。二〇年前にクリスチャンになったことが、現在の学長への道の始まりであり、天命であったとも思っている。研究者の



退任記念講演会・懇親会での飽戸弘学長

最後に、ミッシヨンスクールの学長として、教育に、信仰に貢献できたことを、主に感謝している。そして、半世紀以上、研究・教育を支えてくれた妻に感謝し、全著書・業績を妻に捧げたい。

(記 高木栄作)

高等部部長就任にあたって



小林 敏

このたび、高等部部長としてご奉仕させていただくこととなりました。何とぞよろしくお願い申し上げます。

就任させていただくにあたり、いくつかの貴重な資料とともに、一九八四年刊行の『東洋英和女学院百年史』を読ませていただきました。明治・大正・昭和と続く激動の時代の中で、様々な困難に直面しながらも、多くの教職員・卒業生の皆様が祈りをもつて学院の精神を引き継いで来られたことに、深い感銘を覚えました。学院の歴史の営みの中に、私も加えさせていただくことを光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しております。

私は、昨年三月定年により

退職するまで、三〇年余りを明治学院高等学校に勤務いたしました。高校時代は大人になるための葛藤を誰もが経験する時です。自分とは何かという問題を様々な形で周囲に問いかけてゆきます。その葛藤を経て人は成長し、新たな進路を見出してゆきます。そうした歩みの中にあつて、聖書に学び、共に祈り、賛美をささげるといふ経験が、生徒一人ひとりの人生にどれほど大きな意味をもつか、私どもには計り知れないものがあるように思われます。

私として願うことは、生徒の皆さん一人ひとりが、神様から与えられたそれぞれの賜物を十分に生かし、共に助け合いながら、より良い成長を

遂げることです。微力ですが、そのためのお手伝いをするのができればと存じます。

教職員の皆様・保護者の皆様と手を携え、また、教えをいただきながら、職責を全うしたいと存じております。

プロフィール●小林 敏 (こばやし さとし)

- ・1948年8月群馬県に生まれ、5歳の時から東京で育ちました。
- ・私立の中高男子校を経て東京大学文学部を卒業。日本史を専攻しました。
- ・1974年4月より明治学院高等学校に勤務し、2009年3月、同校を定年により退職いたしました。退職前7年間は副校長・校長を務めました。
- ・現在は東京都多摩市に住んでおり、妻とともに日本基督教団永山教会の会員です。
- ・二人の子供(娘と息子)は独立し、それぞれに家庭を営んでいます。
- ・趣味は読書・旅行などですが、最近、合気道とオカリナを始めました。

高等部部長退任にあたって



佐藤 順子

人の一生の歩みは何と不思議に満ちていることだろう。六五年のこれまでの私の生涯を顧みると、自分自身の考えや計画で為したことは勿論多くあるが、計画も意図もしないのに、喜ばしく幸いな結果をもたらしてくれた重大な事柄があつたことを、感謝のうちに思い起こす。東洋英和女学院に奉職させていただいたこともその一つである。数ある学校の中から、自分で選びとつたわけではない。自分の意思や努力をはるかに超えた力が、私をここに招き導いてくださったとしか考えられない。これまでの人生の半分を東洋英和で過ごさせていただいたことを改めて神に感謝するものである。

聖書科教師の仕事は、授業や礼拝や行事などで生徒たちの心に聖書の種を蒔き、蒔かれることを推進することである。すぐにその結果を見ることはほとんどないが、彼女たちの人生の「いつか」のために、祈りと期待を込めて種蒔きをしてきたよう

に思う。無駄だと感じたことも何度もあつた。ある時東北に嫁いだ卒業生から電話があつた。何で私にという戸惑いを覚えつつ電話に出ると、慣れない土地で子育てにも悩み精神的にまいっているの、こんな時に力になる聖書の言葉を教えてほしいという内容であつた。彼女からこのような言葉が出るとは全く驚いた。卒業時に聖書も讃美歌もどこかにやつてしまったという。新しい革表紙の聖書に聖書箇所をいくつか書いた紙を挟んで送つた。これがどのように彼女を支えたかは定かではないが、種蒔きとはこのようなものかと思う。「いつか学力がつかだろう」などと云つていられない教科の教育が重要なのは当然であるが、それだけでは東洋英和ではない。一二五年の歴史を持つ東洋英和が東洋英和であり続けるには、「聖書」に教育目標の根本を据えなければならぬ。

ある人が母親の老人介護施設を探していた時、立派な建物で素晴らしき経営理念が掲げられている施設を見学したが、そこは選択肢から外した。実際に働く職員たちの言動がそれとは程遠いものだと感じたからだと言ふ。聖書に基づく「敬神奉仕」の精神が、学校中に行き渡っている学院であることを切に祈り願っている。

今年も、二月十一日の休日に、六年生親子とサポートする父の会の方々、教員が集まって親子討論会が行われた。七回目である。

二〇〇三年一〇月六日付の提案書がこの行事が成立したきっかけである。提案書は、父の会会長と母の会会長の連名で、当時の小学部部長寺澤東彦先生宛に出されている。提案の趣旨・目的の部分を抜粋してみると、「小学部も高学年となりますと、自分たちの主体的な考えを持ち、それぞれの価値観に基づいた意見を有するようになって参ります。これから娘達が中学部・高等部・大学を経て一人前の社会人となっていくためには、自らの考え、意見をどのように整理し、他人に伝えていくか、その能力が要求されてくると思われます。そこで、自分の考え、意見を組み立て、それを皆の前で発言する練習の一環として、また小学部在学中の楽しい思い出の一つとなりうるような企画としてご提案する次第です。」と書かれている。

さらに、六年生を対象とすることや、実施は、二月が適当との考え、教員の立場についての相



16教室に分かれ、前半50分、後半30分の討論を実施



作戦タイム PC教室と図書館で反論のために相談 (サポートは他学年のお父さまと教員)

談、五年生の次年度へ向けての見学等についてもこの提案書に書かれていた。

この年私は六年生を担任していたので、提案を受けた部長の命で、お父さま、お母さま方と「小学部の六年生にとって、事前の準備も含めてどのように親子討論会を行うのがよいのか。」を何度も話し合った。六年生児童の代表が話し合いに参加する機会も持った。なかでも、討論のテーマの決め方と討論をする人数については、さまざま考えがあり、決定までには、児童対象のアンケートも保護者対象のアンケートも実施した。当日まで実質三ヶ月もなかったが、保護者の方々の熱い思いは形となり、当日を迎えることができた。初回の親子討論会を経験した子どもたちは、今年、高等部を卒業する。討論会経験がどこかで役立つくれたら嬉しく思う。

今回の第七回討論会までの間に、いくつかの変化があった。児童の事前準備を、児童と教員だけで行うのではなく、父の会の有志の方々が仕事のやりくりをして授業時間中に手伝ってくださるようになった。お父さまのアドバイスにより、それまでの準備だけでは当日の長い討論の時間に語れることが足りない、と自覚して、更なる調べ学習等の準備に励んだ児童も多い。統一テーマを設けた年もある。その年毎に、担当してくださる保護者の方（ここ数年は父の会文化事業部）と担任、児童で工夫を重ねてきた。

定着したと思われるのは、六年生児童五人対保護者（殆どがお父さま）五人が討論をするのを他の学年のお父さまが司会進行をして支えるという形や児童側がテーマを検討して自分たちの立場を先に決め、保護

【2009年度 親子討論会】

グループ	テ マ
6年1組	1 死刑制度は、必要だ
	2 給食よりもお弁当の方がよい
	3 校庭に芝生は、必要だ
	4 お金持ちは、幸せだ
	5 コンタクトレンズよりもメガネの方がよい
	6 お弁当よりも給食の方がよい
	7 たばこの値上げは、必要だ
	8 死刑制度は、必要だ
6年2組	1 赤ちゃんポストは、必要だ
	2 赤ちゃんポストは、必要だ
	3 高速道路は、有料にするべきだ
	4 死刑制度は、不必要だ
	5 制服は、必要だ
	6 お弁当よりも給食の方がよい
	7 おこづかいは、必要だ
	8 時効は、不必要だ

6年生父親の感想
(当日のスピーチからの抜粋)

- きちんと予習をして、我々大人に向かって意見を言うまでに成長している。頼もしく思えたし、親として誇らしく思えました。
- 自分の子どもの時には無かった、全員参加・全員発言が徹底されていることに、昨年はサポートの立場で、今年は父親の立場で参加して、驚いています。
- 娘の成長を感じた。家でとちがって、人の話を良く聞いて、それに対して考えを述べられていた。

6年生児童の感想 (日記からの抜粋)

- 今日は6年生しかない親子討論会をしました。徐々に真剣に討論をしました。やはり、お父さん達は、資料がなくても、とても強かったです。久しぶりにこんなに長く、お父さんとしゃべりました。とてもよい討論会でした。
- 私たちのグループは、「高速道路は有料にするべきだ」という考えで、ディベートを行いました。昨日作った資料を貼った画用紙を見せながら意見を発表することができました。また、全員が発言できたのが良かったなあ、と思いました。勝敗に関係なくディベートができた、と私は思います。

者サイドは、それに反対する立場で討論するという形式などである。

今回の討論会も、親子共に心に残る討論会となったと確信し、父の会の方々に感謝しています。

卒業制作

卒業が近づいている五歳児の子どもたちが、幼稚園のことを思い、卒業制作を作ります。毎年、子どもたちと何を作ろうか相談し、小さい組、ひよこ組に秘密で作り始めます。みんなで協力して、少しずつ大切に作り進めます。出来上がった作品は、五歳児の子どもたちからみんなへ贈られ、保育室や幼稚園のさまざまな場所で大切に使われています。



2008年度 卒業制作
大工が好きな子どもたち。藪そばさんからいただいたかまぼこ板を使って、ゴミ箱を作りました。四歳児が、出来上がった素敵なものを見えています。



2007年度 卒業制作
バングラデシュのことを思い、現地の小学校でもある寺子屋と、バングラデシュの人々、動物や食べ物、植物を木材や張子で作りました。



2005年度 卒業制作
幼稚園や、一緒に遊んだ三・四歳児のために羊毛を使って、ピアノにもかけられる大きなクロスを作りました。



2004年度 卒業制作
子どもたちの「幼稚園の中の知っていることを図鑑にしたい」という思いから、「しぜん」「つくる」「あそび」「せいかつ」の四冊の幼稚園の図鑑を作りました。



2001年度 卒業制作
幼稚園のホール入口近くに、現在もかかっている木製のカレンダー。「何月?何日?何曜日?」これを見ればわかります。毎月、日にちと飾りを変えて使っています。

この他にも、子どもたちが庭で使っている椅子や、片付けの時に使う洗いやさんのかご、保育室にかかっているコルクボードや、毛糸を使った織物も作りました。幼稚園にある卒業制作の一つひとつは、子どもたちが心を込めて手を動かし、作った大切な宝物です。

山田 順子先生が残してくださったもの

大学付属かえで幼稚園

園長 森高 ホサナ

二〇〇九年一月十七日に、一九七五年から二年間かえで幼稚園で共に保育に携わった山田順子先生を、天にお送りしました。

順子先生がかえで幼稚園にいたのは、私がまだ、二〇代の前半の時でした。五歳年上のお姉さんだった順子先生は、イランの日本大使館付属の日本人幼稚園から帰国したばかりでした。とてもおしゃれで、エキゾチックな女性でした。順子先生は年少組の担任でしたが、年少組の子どもが降園すると、私が担任をしていたクラスにやってきて、手の足りないところを助けてくださりながら、子どもの中にすっと入ってきてくださいました。順子先生のまわりには、いつも子どもが集まって穏やかな空気が流れていきます。その関わりを見ながら私も、いつか「順子先生のような子どもの気持ちのわかる保育者になりたい」と思いました。



10月10日前、教会学校で奉仕する順子先生

順子先生は、お母さんになってかえで幼稚園をお辞めになりましたが、私はその後もずっと関わりを持ってきました。息子が二歳位の時のことです。彼はトイレの水に興味をもち、手を突っ込んでかき混ぜたり、私が夕食の準備をしている間に口紅を顔中にぬって真っ赤な赤鬼のようになってみたり、ペランダからおしっこをするなど、私をいたずらで振り回していました。困り果てて順子先生に「息子のいたずらに困っている」と訴えました。すると、「ワッハッハ」と笑って「何を悩んでいるの？ それだけいろいろ見て、自分で試し、頭を使って考えられるのは、何て素晴らしいことでしょう」と言われました。順子先生の言葉には、とし「私の悩んでいたことは、実は子どもの成長にとっては、嬉しく感謝すべきことである」と気づかされたのでした。

また、小学生になった娘と息子を連れて順子先生のお家を訪ねた時のことでした。少しこわもての一六、一七歳位の少年が「ウッス、こんにちはー」と挨拶をして、部屋に入っていました。私と娘が目を見つめると順子先生は「あの子は先週、鑑別所から出てきたのよ」と言われました。すると、次に金色に染めた髪のお兄さんが「おばさん、こんにちは」と顔を出しました。「あの子は、この間万引きをして、警察に連れて行かれた

時、親が引き取りに来てくれないから、私が引き取りに行ったのよ」と事も無げに話されました。「息子の所に遊びに来る時のあの子たちとの約束は、私に挨拶をすることなのよ」とも言われました。

この時、私は、これから起こる自分の子育てのことを想像しながら、何があっても順子先生のところにご相談できれば大丈夫と思っただけでした。人への偏見を持たないで子どもの育ちを見守り、子どもを信じることを教え続けてくださいました。

二年前から、順子先生のガンとの戦いはじまりましたが、年に数回会う時は、いつも、明るく「この病気と私は一緒に生きていくのよ」と前向きにしていってらっしゃいました。二〇〇九年二月に入り、順子先生が、ホスピスに入院されたとの連絡がきました。私は「どんな順子先生になってしまったのか」と心配で、ドキドキしながらお訪ねしました。順子先生の部屋はクリスマスを迎える飾りがいっぱいでした。そして、いつもと変わらず明るく「かえで幼稚園の子どもたちと守ったクリスマス礼拝を思い出すわ。幼い時にイエス様と出会うことは、生涯イエス様が共にいてくださることが分かって幸せなことだと思うの。今の私も同じ気持ちよ。私は、行くところ（天国）が決まっているから、安心なの」と穏やかに話されました。



かえで幼稚園で保育をしていた頃の順子先生

かえで幼稚園の創設期にいてくださった順子先生は、「人を受け入れて信じる」と、そして、自ら心を開いて、相手を理解し関係を作っていくこと」を先生の生き方を通して教えてくださいました。それが、現在のかえで幼稚園のチームでの保育の基礎になっていると思っています。子どもの前に立った順子先生の、赤いマニキュアや赤い口紅にイヤリングは当時の保育者にはない個性的なおしゃれでした。その個性を輝かせて子どもの前に立つ姿には凛とした美しさがありました。それも今、保育者と子どもが個性を認め合い、それぞれの持ち味を生かして生活することに繋がっていると思っています。私は、たくさんの愛を与え続けてくださった順子先生に続くものになりたいと改めて思う者です。

— 順子先生に感謝をこめて —

法人事務局長就任にあたって

西田哲也



このたび法人事務局長を拝命いたしました。見えざる手に導かれるように、不思議な縁で学院に加わらせて頂き二年が経ちましたが、今、ミス・カー

トメルの祈りに始まる東洋英和女学院の長い歴史と、今後自らが負っていく職責、双方の重さを改めて感じております。最近、いささか神頼みの気持ちも交じったことでしょうか、前の職場の大先輩で、学院にも大きな足跡を残された速水 優前評議員が日銀総裁在任中、自らの座右の銘として職員に語られた言葉をよく思い起こすようになりました。「神よ、変えることの出来ないものについてそれを受け入れる冷静さを、変えるべきものについてはそれを変える勇気を、そして両者を識別することの出来る知恵を与え給え」(神学者ラ

インホルト・ニーバー)。力なく欠点も多い私ですが、これまで学院を支え育てて来られた多くの方々の働きと、この祈りを心に留め、何事も神に委ねる思いで、学院を取り巻く多くの課題に取り組んでいきたいと思っております。ご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

プロフィール ● 西田哲也 (にしだ てつや)
1956年大阪府岸和田に生まれ、12歳より東京都下で育つ。79年上智大学外国語学部卒。同年日本銀行入行後、ジョンス・ホプキンス大修士課程修了。国際局、松山支店、外務省(出向)、総務人事務局等に勤務。2008年6月、学院法人事務局長総務企画部に転入。家族は妻、娘2人、母。

学院で働いた事は誇りです

湯浅 慶



二〇〇六年度より法人事務局長を務めさせていただき、今春退任の時を迎えました。「何事にも時があり 天の下の出来事にはすべて定められた時が

ある。」(コヘレトの言葉三章一節)。組織や制度は「人」が作るものですから、新局長は組織や制度という枠組みをチェンジする絶好の「時」が来た、と捉えて下さい。法人事務局が「本部」と呼ばれる事もあります。本部という言葉は、学院全体に関わる機能を持った部署、を表していると思います。縁あって学院で働く荣誉を得た本部の皆さんは、学院の歴史とキリスト教に深くコミットして頂きたいと思えます。ここ何年間か「新採用者オリエンテーション」で、学院の歴史を語ってき

ました。一二六年前、初代校長のカー トメル先生がこの地で東洋英和女学校を始めた時、生徒は僅か二名でした。女性宣教師として献身し日本の地を踏み女学校を創り、その後継承していった多くの女性宣教師の先生方の労苦は、想像を絶するものがあつたでしょう。私は、学院の歴史に感動します。感動なくして東洋英和女学院で働く意味は、極めて希薄になります。加えて、宣教師の先生方の使命感の根柢はキリストの教えでありました(マルコによる福音書一章一七節)。

軽井沢追分寮・野尻キャンパスサイト
宿泊利用案内

東洋英和では、学院の宿泊施設を学院関係者の皆様にご利用いただいております。高原の軽井沢追分寮と湖畔の野尻キャンパスサイトと、それぞれ違った魅力が楽しめます。是非ご活用ください。



軽井沢追分寮
■所在地：長野県北佐久郡軽井沢町追分分去
■利用期間 5月の連休明けから9月30日まで、学校行事の期間を除き、利用できます。
■利用料金 6,000円～8,000円 (1泊3食付)



野尻キャンパスサイト
■所在地：長野県上水内郡信濃町桐久保
■利用期間 中高部夏期学校・キャンプ終了後の8月6日から8月23日まで利用することができます。
■利用料金 6,000円～8,500円 (1泊3食付)

●予約状況・料金等詳細につきましては法人事務局管財課 (03-3583-3307) までお問い合わせください。

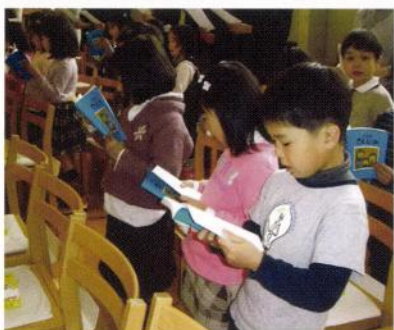
東洋英和
幼稚園



父と子の遠足

- アドヴェント終業礼拝
12月15日(火)
子どもたちとお母様、みんなで礼拝を守りました。
- ACEF(エイセフ)訪問 五歳児
1月14日(木)
- おもちゃつき
1月14日(木) 三・四歳児
1月26日(火) 五歳児
子どもたちが、お父様とお母様と一緒におもちゃをつき、おやつや、幼稚園で作った豚汁と一緒に昼食としていただきました。
- 父と子の遠足 2月6日(土)
那須高原に遠足に行き、たくさん雪が降る中、雪遊びを楽しみました。
- すばなしの会 2月9日(火)
- ホームカミング 2月13日(土)
小学六年生までの卒業生が、幼稚園に遊びにきました。
- 日本舞踊を観る会 2月16日(火)

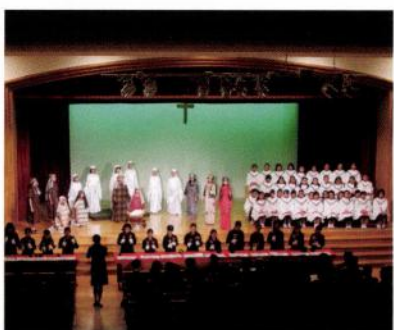
大学付属
かえで
幼稚園



まぶね教会で礼拝する5歳児

- クリスマス礼拝
四～五歳児は、二日に分けて縦割りクラスでの礼拝を守り、三歳児の礼拝には、五歳児有志が加わり、ページェントをもって礼拝をしました。同窓会の礼拝には二〇〇名近くの卒業生とそこの友だちが集まってきました。
- 2月、様々な形での地域との交流がありました。五歳児は、日本キリスト教団まぶね教会・横浜市立美しが丘小学校、元石川小学校を訪問しました。また、市立美しが丘中学校の二年生全員が、保育見学に訪れました。
- 卒業遠足 2月18日(木)
五歳児の子どもたちと保育者全員で富士の裾野へ出かけ、そり滑り等楽しい交わりをしました。
- 人形劇鑑賞 2月20日(土)
人形劇団「ひぼぼたあむ」の劇を親子で観ました。

小学部



むかえようクリスマス

- むかえようクリスマス
12月12日(土)
聖歌隊の合唱やオルガン、ハンドベルの音色に包まれ、ページェントを通してクリスマスの喜びを、お集まりの一般の方々にも伝えることができました。
- クリスマス礼拝
12月17日(木)
マグノリアコンサート
1月29日(金)
学年ごとに合唱を発表した後、全校児童で心を合わせて、子どもオペラ「トゥーランドット」を歌いました。
- 美術展
2月10日(水)・11日(木)・祝
テーマ「創るって楽しいな」
- 6年親子討論会
2月11日(木)・祝
- クラブ発表会
2月23日(火)～26日(金)

中高部



高等部講演会—秋山仁先生の熱のこもった講演—

- 中学部鑑賞行事
12月9日(水)
九世野村万蔵氏をお迎えして狂言教室を行いました。
- クリスマス音楽会
12月12日(土)
生徒と父親有志による混声合唱、全日本学生音楽コンクール声楽部門で優勝した高三の横山和美さん親子の二重唱もありました。
- クリスマス礼拝
12月18日(金)
中学部は礼拝後に聖誕劇を演じ、高等部は大宮チエ子名誉牧師(阿佐ヶ谷教会)からお話を伺いました。
- 中学部入学試験
2月1日(月)、3日(水)
- 高等部講演会
2月4日(木)

大学
大学院



雪が降ると…学生作品展

- (大学)
クリスマス礼拝 12月21日(月)
説教・吉岡康子牧師(青山学院 女子短期大学准教授)
- スカラシップ特別入試
12月19日(土)
今回は、横浜校地、六本木校地、大宮会場、静岡会場、仙台会場の5ヶ所で行いました。
- 大学入試センター試験
1月16日(土)、17日(日)
- 一般入試 1月31日(日)
- (一般後期)入試 2月20日(土) (大学院)
- 国際協力研究科、冬季選抜入試
12月5日(土)
- 人間科学研究科修士課程、博士後期課程春季選抜一次、二次入試
2月6日(土)、13日(土)
- 国際協力研究科、春季選抜入試
2月13日(土)

新しい一歩を踏み出す勇気を大切に



二〇〇一年 大学社会科学部社会科学卒業 渡辺 桂子

わたなべ けいこ

日本財団総務グループ秘書チーム・リーダー。東洋英和女学院大学在学中は増田弘セミ（日本外交）所属。E.S.S.（English Speaking Society）ではディベートセクション・チーフを務め、一九九九年 第八回 International Christian University Parliamentary Debate Tournament 総合第三位入賞。二〇〇三年早稲田大学大学院アジア太平洋研究科修士、国際関係学修士。同年、日本財団に入会。公益・ボランティア支援グループを経て、二〇〇五年より現職。

挑戦という名の自分探しの旅

一九九七年の夏、北京駅。三、四歳くらいの男の子が、やせ細った体を一層小さく丸めて埃まみれになりながら、地面に頭を押しつけていた。

手にはび割れた茶碗をしっかりと握り、地面をひたすらたたき続けている。来る日も来る日も、雑踏の中には「トントントン」という音が響いていた。「チャリン」と音がするとぱっと顔をあげて、ポケットに素早くお金をしまい、またすぐに顔をうずめてしまう。大学一年時、語学研修のために訪れた活気溢れる街の中で、ここだけ切り離された世界のように寂しさが漂っていた。すべてをあきらめてしまったかのような瞳に、この世の中はどう映っているだろうと胸が詰まる想いがした。

帰国後、北京駅で出会ったような過酷な境遇に身を置く子どもたちにも、自分は何ができるのかと自問自答する日が続いた。答えはすぐに見つからないかもしれないが、出来る限りいろいろなことに挑戦してみよ

う。そんな思いに突き動かされ、毎日、朝から晩まで走り回った。国際機関でのインターンシップ、子どもたちを対象としたボランティア、地元横浜のケーブルテレビでのレポーター。そして、英和ではE.S.S.（English Speaking Society）のディベート活動に明け暮れていた。

E.S.S.では、引退前の大学対抗試合で、決勝トーナメントに残った。「言葉」という武器で戦うのがディベートで、勝敗はいかに聴衆を説得することができたかで決まる。準決勝進出チームの発表で、司会者から「Toyo Eiva Women's University」と呼ばれた瞬間、仲間と手を取り合っただけで喜んだ。地道な練習が実を結んだことが何よりうれしかった。準決勝では外国人ディベーターと戦い、敗れてしまったが、言葉が持つ力の重さ、伝えることの難しさや面白さを深く心に刻むことができた。

多くの素晴らしい出会いに感謝して

今、私は日本財団という非営利組

織で働いている。競艇の売り上げの一部を財源として、社会福祉や文化、海外における人道支援など多岐にわたる事業を実施する団体だ。若手職員も積極的に現場に足を運んで経験を積むことができる環境にあり、現場で汗を流しながら働く方やその道の専門家と呼ばれる方との出会いに刺激される日々だ。

昨秋は、死生学の第一人者であり、長年にわたり日本のホスピス運動に貢献してきたアルフォン・ス・デーケン先生をリーダーとする医療・福祉関係者の米国ホスピス視察研修に同行する機会にも恵まれた。全米を代表する様々な形態のホスピスを訪れ、理想的な在宅ホスピスのあり方を目の当たりにした。医師や看護師をはじめ、グリーンフ・カウンセラー（悲嘆カウンセラー）、音楽療法士、ボランティアなどで構成された緩和ケアチームが支えるのは、患者さん一人ひとりの暮らしそのものである。日本では在宅ケアがそれほど進んでいないため、「最期のひとときを

住み慣れた自宅で過ごしたい」という小さな願いさえ叶えられない人々が数多くおり、こうした問題への解決策を提供していくのも日本財団の役割である。

デーケン先生は優しさの中に穏やかな情熱を燃やし続けており、「だからのために役に立っていると実感することが生きる喜びになる。自分なりの生を全うすると同じように、自分なりの死を全うするという積極的な姿勢について、教育を通じて伝えていきたい。」と夢を語ってくださった。

現在、東洋英和女学院大学死生学研究所の講座や研究会にも参加させていただき、渡辺和子先生をはじめ、多くの先生方の熱心なご講義を受け、学ぶことの楽しさを再認識している。

私自身が多くの人々に支えられていることへの感謝の気持ちを忘れずに、英和時代に学んだ「自ら行動すること、伝えること」を大切に、これからも一歩踏み出す勇気を持ち続けていきたいと思う。



セント・ビンセント病院（ニューヨーク市）にて。研修生、病院スタッフの皆さんとアルフォン・デーケン先生（中央）を囲んで



「横浜市少年洋上セミナー」でボランティアリーダーを務めた時のもの。団員の子どもたちとともに、「新さくら丸」の甲板の上で

自分は正しい人間だとうぬぼれて、他人を見下している人々に対しても、イエスは次のたとえを話された。「二人の人が祈るために神殿に上った。一人はファリサイ派の人で、もう一人は徴税人だった。ファリサイ派の人は立って、心の中でこのように祈った。『神様、わたしはほかの人のように、奪い取る者、不正な者、姦通を犯す者でなく、また、この徴税人のような者でもないことを感謝します。わたしは週に二度断食し、全収入の十分の一を献げています。』ところが、徴税人は遠くに立って、目を天に上げようとせず、胸を打ちながら言った。『神様、罪人のわたしを憐れんでください。』言っておくが、義とされて家に帰ったのは、この人であって、あのファリサイ派の人ではない。だれでも高ぶる者は低くされ、へりくだる者は高められる。」

ルカによる福音書 十八章九〜十四節

これは義人の祈りよりも、罪人の祈りを神が義とされたお話です。

自分の正しさを主張するファリサイ派の人の祈りに対し、何らかの事情で今もなお罪の生活を続けざるを得ない徴税人は、「わたしを憐れんでください」と、心の苦しみに喘ぎつつ、神に赦しを乞うのが精一杯でした。

阪神大震災の時、迫り来る猛火に取り残された肉親を見棄てて逃げざるを得なかった人々や、戦争中、自分の信念を曲げて戦争に協力してしまった人々等々と同じく、私たちも皆罪に陥り易い弱い人間です。

しかし愛の神は、罪に泣く徹底した貧しい心、悲しむ心に目を注がれ十字架の贖いに招き入れ、私たちの弱さを担って共に人生を歩まれます。罪に泣く罪人に赦しと恵みが溢れるのです。ただ感謝あるのみです。これが十字架の福音です。

牧師（一九四八年 高等部卒業）

NPO小諸いずみ会いのちの家所長

川崎 経子



小学部講堂の十字架

お母様方が大活躍。幼稚園の調理室を訪ねました

立春を迎えた日、東洋英和幼稚園の園舎の二階にある調理室を訪れました。ここでは毎週木曜日に年長組のお母様方が子どもたちのために給食を作ってくださいます。お料理のご指導は栄養士の柳寿子先生です。八時四十分からのミーティングの後、五人のお母様によるお料理が始まります。

いつもご家庭で調理には手馴れているお母様方ですが、お当番で作るのは二時間ほどの間に年長組五〇食分。かなりの量があるので、手際よく作業していかねばなりません。柳先生も年間を通して和食・洋食・中華のさまざまなメニューを設定されるので、あまり普段使わない食材に出合うなどお母様方にとっても新鮮な驚きがあり、何よりも子どもたちにとっていろいろな味に

出合える大事な機会となっています。この日も普段は市販品を買ってしまうような

「でんぶ」や「かりんとう」を手作りするなど、かなり手のこんだメニュー構成です。

今日は特別に、子どもたちはこれからのただく食べ物についての栄養のお話を聞き、テーブルにつきます。お母様方の調理も大

詰めをむかえます。次々と調理室のすぐとなりの集会室に手作りの給食が運ばれていきます。お祈りの後、みんなでいただきますをし、食事が始まります。おいしい太巻きのおかわりにたくさんの子どもの子どもたちが並び、デザートを食べる頃には大満足です。

となりの調理室を覗いてみると、お料理を終えて寛いでいらっしやるお母様方の優しい笑顔が印象的でした。



柳先生のご指導のもと、てきばきとお母様方の作業が進みます



本日のメニューは「太巻き寿司」「海老団子と胡瓜」「ゴマドレッシングのサラダ」「そうめんのお吸い物」、そして「かりんとう」です



おいしい給食に子どもたちは大満足です

2010年度 行事予定

小 学 部		東洋英和幼稚園		大学付属 かえで幼稚園	
4月	7日(水) 始業式 9日(金) 入学式 * 春の健康診断 30日(金) 春の遠足	4月	8日(木) 始業礼拝 14日(水) 入園式 * 春の健康診断 28日(水) 新入園母子歓迎会	4月	5日(月) 小学生イースター礼拝 7日(水) 始業礼拝(進級児) 8日(木) 新入園児始業 13日(火) 入園式 24日(土) ワーク(5歳児、父親保育参加及び家族のバーベキュー、年4回実施) 27日(火) 園外保育(4歳児)
5月	11日(火)～12日(水) 授業参観日 19日(水) ペンテコステ礼拝 29日(土) 運動会	5月	27日(木) はみがき指導	5月	10日(月) 母の日礼拝 11日(火) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児) 25日(火) 健康診断
6月	10日(木) 学校説明会① * 1、6年歯磨き指導 26日(土) 学校説明会② 26日(土) 土曜参観	6月	1日(火) 春の遠足(四季の森公園) 12日(土) 父母の会 25日(金) いちようの木献金セール	6月	10日(木) 歯科健診
7月	7日(水) 児童引き取り訓練 追分の生活 13日(火)～15日(木) 1年1組 15日(木)～17日(土) 1年2組 17日(土)～19日(月) 2年1組、6年1組 19日(月)～21日(水) 2年2組、6年2組 21日(水)～23日(金) 3年1組・2組 23日(金)～25日(日) 4年1組・2組 26日(月)～29日(木) 5年1組・2組	7月	7日(水)～9日(金) キャンプ(5歳児)(軽井沢追分寮) 14日(水) 終業礼拝 17日(土) 入園説明会① 19日(月・祝) 入園説明会②	7月	16日(金) 終業礼拝 たのしみ会(3歳児) 17日(土) 夕涼み会 * (火) 母親講演会
8月		8月		8月	26日(木)～31日(火) 夏期保育
9月	3日(金) コース別集団下校訓練 21日(火)～24日(金) 6年 修学旅行 30日(木) 秋の遠足	9月	6日(月) 始業礼拝 30日(木) 祖父母の会	9月	1日(水)～3日(金) 軽井沢キャンプ(5歳児) 7日(火) 始業礼拝(5歳児) 8日(水) 始業礼拝(3、4歳児) 18日(土) 入園説明会①
10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 8日(金) 前期終業式 12日(火) 後期始業式 * 秋の健康診断	10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 9日(土) 父と遊ぶ日(3、4歳児) 22日(金)～27日(水) 入園考査 * 秋の健康診断	10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 16日(土) ファミリーデー(4、5歳児)(大学校地) 18日(月) オープンデー(3歳児) 20日(水) 入園説明会②
11月	1日(月) 入学考査 5日(金) 学院創立記念日礼拝 6日(土) 学院創立記念日 26日(金) 学芸会 29日(月) アドヴェントを迎える会	11月	5日(金) 学院創立記念日礼拝 6日(土) 学院創立記念日 12日(金) りんご園遠足(5歳児)(長野県上田市)	11月	1日(月) 入園願書受付 2日(火) 芋ほり(4、5歳児) 5日(金) 学院創立記念日礼拝・音楽会 6日(土) 学院創立記念日 24日(水) アドヴェント礼拝Ⅰ 29日(月) アドヴェント礼拝Ⅱ
12月	11日(土) むかえようクリスマス 17日(金) クリスマス礼拝	12月	8日(水) 母の会アドヴェント礼拝 14日(火) アドヴェント終業礼拝	12月	6日(月) アドヴェント礼拝Ⅲ 15日(水) クリスマス礼拝(3歳児) 16日(木)・17日(金) クリスマス礼拝(4、5歳児) 18日(土) 小学生クリスマス礼拝
1月	28日(金) マグノリアコンサート	1月	11日(火) 始業礼拝 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)	1月	11日(火) 始業礼拝(4、5歳児) 12日(水) 始業礼拝(3歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	11日(金・祝)・14日(月) 美術展 11日(金・祝) 親子討論会 18日(金) 授業参観日 22日(火)～25日(金) クラブ発表週	2月	5日(土) 父と子の遠足(5歳児)(栃木県那須高原) 15日(火) 日本舞踊を観る会	2月	5日(土) 父親保育参加(4歳児) 17日(木) 卒業遠足(5歳児) 19日(土) 人形劇 * 小学校訪問(5歳児)
3月	16日(水) 卒業式 17日(木) 修業式	3月	* お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 10日(木) 終業礼拝 11日(金) 卒業式	3月	3日(木) 園外保育(4歳児) 16日(水) 終業礼拝(3、4歳児) 17日(木) お別れ会 18日(金) 卒業式

*印は日程が未定です。(3月31日現在)

2010年度 行事予定

大 学 院		大 学		中 高 部	
4月	3日(土) 入学式・オリエンテーション 17日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日 (2010年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日 (2011年3月修了見込者) 24日(土) 健康診断	4月	2日(金) 入学式 1日(木)～8日(木) 学内オリエンテーション 24日(土) プレイデー	4月	7日(水) 中学部入学式 8日(木) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 24日(土) 授業公開日・母の会総会
5月	22日(土) 入試説明・相談会	5月	19日(水)～20日(木) 1年生オリエンテーション合宿(人間科学部) 20日(木)～21日(金) 1年生オリエンテーション合宿(国際社会学部)	5月	10日(月)～12日(水) 高3修養会(天城) 10日(月)～14日(金) 高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎) 10日(月)～14日(金) 中1オリエンテーション前後期(軽井沢追分) 12日(水) 中2～高1学年行事
7月	1日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2010年9月修了見込者) 3日(土) 2010年度修士課程後期入学試験 24日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	6月	6日(日)・20日(日) オープンキャンパス 12日(土) 東京女子大学スポーツ交流会	6月	4日(金)～9日(水) I学期中間試験 9日(水) 中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問 17日(木)～18日(金) 高1カンファレンス(軽井沢) 25日(金) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部) 26日(土) オープンスクール
8月	28日(土) 2010年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験	7月	24日(土)・25日(日) オープンキャンパス	7月	17日(土)～8月8日(日) 語学研修旅行(カナダ) 17日(土)～19日(月) オープニングキャンプ(野尻) 23日(金)～30日(金) 中2夏期学校前後期(野尻) 30日(金)～8月2日(月) 訓練キャンプ(野尻)
9月	11日(土) 人間科学研究科修士課程 2011年度前期(秋季選抜)一次試験 国際協力研究科修士課程 2011年度前期(秋季選抜)試験 18日(土) 学位授与式/入学式・オリエンテーション 19日(日) 人間科学研究科修士課程 2011年度前期(秋季選抜)二次試験	8月	21日(土)・22日(日) オープンキャンパス	8月	2日(月)～6日(金) キャンプ(野尻) 2日(月)～4日(水) 夏期修養会
10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 2日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2011年3月修了見込者) 23日(土) 入試説明・相談会(国際協力研究科のみ) 29日(金) 博士論文提出締切日(2011年3月修了見込者)	9月	18日(土) オープンキャンパス	9月	4日(土) 第1回学校説明会 21日(火)～28日(火) I学期期末試験
11月	6日(土) 学院創立記念日 20日(土) 入試説明・相談会(人間科学研究科のみ)	10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 24日(日) 公募制推薦入試、同窓生子女枠特別推薦入試、一般・社会人編入試、社会人入試	10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 6日(水) II学期始業礼拝 9日(土) 体育祭 22日(金)～23日(土) 楓祭
12月	2日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2011年3月修了見込者) 4日(土) 国際協力研究科修士課程 2011年度前期(冬季選抜)試験	11月	11月2日(火)～11月3日(水) かえで祭 6日(土) 学院創立記念日 20日(土)・21日(日) オープンキャンパス * チャペルコンサート * 収穫祭	11月	1日(月)～5日(金) 創立記念特別週間 5日(金) 学院創立記念日式典 6日(土) 学院創立記念日 8日(月)～12日(金) 授業公開 13日(土) 第2回学校説明会 19日(金) 球技会(中学部)
2月	5日(土) 人間科学研究科 2011年度前期(春季選抜)一次試験 12日(土) 人間科学研究科 2011年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2011年度前期(春季選抜)試験	12月	1日(水) アドヴェント夕礼拝 * 清楓会クリスマスパーティー 19日(日) スカラシップ特別入試 20日(月) クリスマス礼拝	12月	2日(木)～8日(水) II学期中間試験/高3期末試験 8日(水) 中学部鑑賞行事 11日(土) クリスマス音楽会 20日(月) クリスマス礼拝
3月	5日(土) 2011年度前期科目等履修生・プログラム履修生試験 19日(土) 学位授与式	1月	8日(土) 院内推薦入試、外国人留学生入試 15日(土)～16日(日) 大学入試センター試験 31日(月) 一般入試	2月	1日(火) 入学試験A日程 3日(木) 入学試験B日程
		2月	20日(日) 一般入試(後期)	3月	3日(木)～9日(水) II学期期末試験 16日(水) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 17日(木) 高等部卒業礼拝 18日(金) 卒業式 21日(月)～4月4日(月) 短期留学(アメリカ) 21日(月)～24日(木) スキー教室(志賀高原) 22日(火)～25日(金) 聖書科学習旅行(沖縄)
		3月	11日(金) 卒業礼拝 17日(木) 卒業式		

全 学 院		全 学 院	
4月	1日(木) 新任者辞令交付式 16日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会	11月	5日(金) 学院創立記念日礼拝 永年勤続者表彰式 6日(土) 学院創立記念日 9日(火) カナダ宣教師墓前礼拝 * ハンドベルフェスティバル
7月	2日(金) 後援会常任役員会・役員会・総会 * 三英和懇談会(於 静岡英和女学院)	12月	3日(金) 全学院クリスマス礼拝
10月	1日(金) 追悼記念日礼拝 15日(金) 後援会役員懇談会	3月	4日(金) 後援会・母の会役員・学院懇談会/後援会常任役員会 23日(水) 退職者辞令交付式・送別会

英和の植物通信

～目を近づければ楽しさ無限～ No.20

絵・文・写真：中池 敏之

(大学非常勤講師：博物館概論等担当)



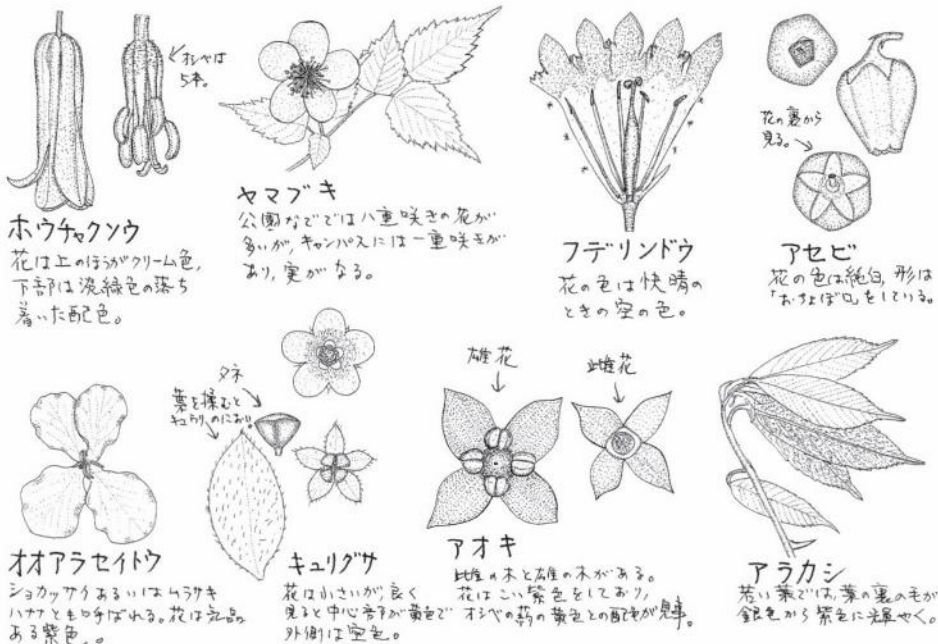
キンラン (横浜キャンパス)

キンラン (金蘭)

春、横浜キャンパスの林の中は、黄色の明かりが点在する。色は派手だが、花は手を軽く握った感じで、全開することなく、奥ゆかしい姿である。

近年、ランの仲間は、環境の変化で個体数が年々減少の傾向にある。幸い、横浜キャンパスでは、キンランを始め、エビネ、ギンラン等は、株が増加している。

キンランは比較的明るい林内を好む。林が遷移するに従い、微妙な光や水分などの環境が変わり、植物相は変化する。だからこそ、花に接している時は、まさに一期一会、自然や花の恵みに感謝したいものである。



展示のご案内

学院史料展示コーナー

『カナダ婦人宣教師物語』をめぐる
—東洋英和を築いた人々—

『カナダ婦人宣教師物語』刊行によせて宣教師に関する史料展示を行っています。六本木校地の近くにいらっしゃる際には是非お立ち寄りください。



- 展示場所
六本木 本部・大学院棟 1階ロビー
- 見学可能な時間
日曜、祝日以外の本部・大学院棟開館時間内

展示内容については随時ホームページ等でお知らせいたします。

お問い合わせ先：〒106-8507 港区六本木5-14-40
TEL 03-3583-3166 法人事務局 史料室

東洋英和女学院学院報 楓園 第60号

発行日：2010年4月26日
編集：広報委員会
発行：学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木5-14-40
TEL 03-3583-3325
メールアドレス
koho@toyoeiwa.ac.jp
ホームページアドレス
http://www.toyoeiwa.ac.jp



害児の耳をひらく」教育に長年、心血を注いでこられました日本聾話学校教頭、森道興先生のお話を伺い、河野和雄先生 の指揮でOG

達の手でハンドベル演奏を聞かせて頂きました。終了後、お茶の会では、皆、母校で過ごした頃の英和生に戻り、おしゃべりと笑いの中で自由な歓談の時を持ちます。同窓生の手作り製品が並びミニバザーも大変人気があります。お誘いあわせの上、是非お出かけ下さいませ。

同窓会総会のご案内

午前中に六つの各同窓会総会を終え、午後は全員が新マーガレット・クレイグ記念講堂に集まって同窓会総会議事を行います。その後、音楽を通して「聴覚障

同窓会新入会員の紹介
新しく入会された皆様を心から歓迎致しております。
高等部同窓会東光会 一九〇名
大学同窓会楓美会 五〇〇名
大学院同窓会 任意加入

日	時：2010年6月5日(土) 13:10より
会	場：新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)
総会議事	前年度行事報告・決算報告・監査報告 今年度行事案・予算案・新役員人事承認
講	演：日本聾話学校教頭 森道興氏「補聴器と音楽」
ハンドベル演奏	本校卒業生、教職員による。 指揮 河野和雄氏(本学非常勤講師・オルガニスト)
終了後	お茶の会(15時45分終了予定)
各同窓会総会	保育部会 10:30 中高部小講堂 かえで会 11:15 中高部集会室 楓美会 11:30 本部・大学院棟 東光会 12:30 中高部小講堂 楓雅会 12:30 中高部集会室 大学院 12:30 本部・大学院棟

同窓会より